は、IPS細胞と倫理との関係について興味を持ちました。現在IPS細胞は開発資金も増額され、今後の再生医療に貢献することが大いに期待されています。それに伴う倫理について、我々が強い意識を持って向かい合うことがいかに重要かということを学びました。これ以外にも、授業の中で興味を持った事は数多くあります。それらについては卒業後も勉強を続け、少しでも社会に還元できるように出来たらと思っています。

かけがえのない人生のひとときを共有させていただいた学友たち、そして先生はじめスタッフの方々に深く感謝したいと思います。

本当に有難うございました。

校友会長賞を受賞して

中原　照雄

私は平成23年4月通信教育部法学部政治経済学科に入学し、本年3月卒業しました。3月25日行われた日本武道館での卒業式、続く学位授与式、卒業生表彰式並びに卒業祝賀会等の卒業行事は、いずれも厳粛な雰囲気の中厳格に催された。出席した卒業生は緊張の中にも、大きな目的を果した安堵感、若しくは入学から今日までの苦労を思い出しているのか、卒業する喜びを噛み締めている多くの姿が印象的であった。

私が卒業生表彰式で名誉ある校友会長賞を受賞したことは、私を含めた家族に対する大学からの御褒美であり、その日は卒業の喜びと同時に感慨深い日となりました。

これら通信教育部の卒業式典において、福田通信教育部長に白戸通信教育部校友会長の2人から、いずれも日本大学の教育理念である「自主創造」の精神を基調とする格調高く心強い祝辞が述べられた。福田通信教育部長は「これまでの学生生活で『自主創造』の力が醸成されている。大学で学んだ不屈の意思と純粋な心をもってすれば、必ず道は開かれる。」と、更に白戸通信教育部校友会長は「これからは日本大学の卒業生であると自信と誇りをもって行動されたい。」等と、卒業生の前途を称える祝辞は、卒業生の一人ひとりに終生忘れ難い、多くの感銘と共感を与えた。

私が今日大学を卒業できましたのは、通信教育部の豊富なカリキュラム、先生方の授業に対する真摯な取組み姿勢、年代を越えた幅広い校友の刺激、家族や職場同僚からの協力があった結果である。一緒に勉学に励んだ校友には深く感謝するとともに、在校生の一日も早い目標達成を強く期待したい。

私の大学に入学した理由は公務員を定年退職し、嘱託に在職していた62歳の時です。当時、私の同級生の大半が大学に進学していたことで、悔しかった気持が残っており、「いずれ機会があれば、大学で学びたい。」と思っていたことと、残された自分の人生を好きな青少年への指導育成に携わりたいという気持があるからです。現役で仕事に就いていた時、何度も夜学への道を考えていましたが、不規則な勤務状況下では計画が立てられず、断念せざるを得なかったのです。

しかし、現役とは違った嘱託での勤務は、職員の能力や技術等を教育する教育施設でした。その職場は若い職員が多く日々刺激を受けていたが時間的余裕もあり、更には上司同僚からの暖かい配慮が得られるなど、職場環境に恵まれたことから、大学での勉学に多少の不安もありましたが「年令的に勉学する時機は今しかない。」と、心機一転し入学を決意したのです。

私は卒業を機会に教員免許を取得すべく、通信教育部へ教職生として再入学をしています。公務員や嘱託在職中、私は仕事で青少年の指導育成に携わっていた経験を持っている。それら経験から「教育の力は大きい。教育は国の発展への原動力である。」と、教育の大切さを青少年の考えや行動を通して学んでいる。

今日私が頂いた校友会長賞は、青少年の健全育成を目ざして努力している者にとって一歩前進へと大きな激励である。

私は教員の資格が得られたら、これまでの青少年に対する指導育成の経験を自信を持って生かし、地域や社会活動に積極的に参加し貢献したい。夢の実現を目ざし、日々奮闘努力を重ねている昨今である。

～学友との絆こそが卒業への近道～

田島　佑樹

日本大学通信教育部校友会の皆様におかれましては、ますますのご清祥のこととお慶び申し上げます。

私は、平成26年3月25日の卒業式において「校友会長賞」をいただくことができました。改めて感謝申し上げます。

東日本大震災の直後に入学し、いろいろな意味で不安な大学生活が幕を開け、早4年辛く苦しい時期もありましたが、常に周囲には学友の存在がありました。

スクーリングを受講する度に仲間が増えていきました。講義終了後には、盃を交わし親睦を深めたり、情報の共有をこまめに行ったりして、通信制とは思えないような交流が図れました。被災地と同じように仲間との〝絆〟の大切さを実感する日々でした。

1年生の後半からは、縁あって学友活動に参加するようになり、役員になってからは〝絆〟の輪を広げようとたくさんの活動をしてきました。学友会に入ったことで、全国各地の仲間がさらに増えました。このように仲間と切磋琢磨することで、順調に単位を修得することができました。その背景には、地元愛知県で行われた学事相談やオリエンテーション、東京都・静岡県・大阪府の学習センターなどの影響も多大なものでした。東京と大阪はよく利用させていただき、指導員の方々に本当に感謝申し上げます。

4年生になった時には、夏スク時の各種イベントである集夏祭の実行委員長に任命され奔走することになりました。しかし、教育実習と介護等体験、卒業論文への挑戦、本業である運転士の新規免許取得（甲種内燃車）が立ちはだかり、多くの役員や学生に迷惑をかけてしまいましたが、すべて成功裏に終わることができました。これも仲間の〝絆〟があったからだと思います。今後は、かげながら支援をしたいと思います。

卒業論文は、陸教授指導のもと本業と関係のある「リニア」について研究しました。何度も学校に足を運び指導を受け、仕事の合間に図書館に通い、寝る間も惜しんで執筆作業をしていました。会社にも提出し高評価を得ることができました。

経済学部で卒業論文を執筆するのは珍しいとのことでしたが、人生の財産になりました。4年での卒業が会社から課せられた条件で、今考えると無謀な挑戦であったのかもしれません。しかし、学友との絆があったからこそ奮起できたのだと信じています。最後に、校友会長はじめ、先生方や学校職員の方、指導員さんやたくさんのかけがいのない仲間達、会社に対して感謝の気持ちでいっぱいです。「本当にありがとうございました」

校友だより

表彰状受賞のよろこび

愛媛県支部　**山内　準一郎**

この度は表彰状を頂き、有難うございました。校友会役員として、17年も経ったとは、正に「光陰矢のごとし」。今年、後期高齢者となる節目、改めて今までを振り返り、今後の糧としていきたい。いい機会を与えて頂き感謝いたします。

さて、S38年入学、42年卒業、世は高度経済成長真っ盛り、東京オリンピック。バス会社から教職という、逆ともいえる転職の直後。実際、同僚で民間企業にでた方もいました。でも、スクーリングは職場の理解に甘んじて満願成就。宿舎は水道橋近くの校舎地下レスリング道場、学友間の交流は全国区、ご指導下さる先生方や事務局の担当先生方にはお世話になったものです。アルバイトは錦糸町の喫茶店に通いました。遅く帰って、寝静まっている皆を起こさないように、こっそり寝床にたどり着く、でも、起こしたこともありました。

「70三つ子」と申します。意識下の老人力を発揮して、実際の3歳児には夢の中でもならないよう、これを機にさらに自己鍛錬に努めて参ります。

現職初期は不安の中、我武者羅、無我夢中。能力無視の自己肯定・自己納得で家族にも少なからず影響は及んでいきました。しかし、休まず・遅れず・・・ではないが40年間近く欠勤0、遅刻も記憶にないことは、表彰ものであると今でも自負しています。

これは日頃の体調管理、健康維持に努めたことは勿論、実践できたのも妻のお陰。有難いことです。

退職後15年間も、母校の就職支援員、吉田町人権教育指導員、ボランティア活動等々、現職時と変わらないくらいの毎日。しかも「内に厳しく、外に優しく・・・」これからは内にも優しくして・・・今、Eテレで篠田桃紅102歳の生き様を視ています。「自らに由って生きるのが自由」。本当にありがとうございました。

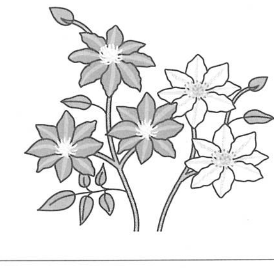
近況あれこれ

石川県支部　**大中　久子**

本年4月、草木の萌え出ずる候となりました。校友の皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしの事とお慶び申し上げます。私も石川県支部長を辞してから、丸12年近くになろうとしております。本年後期高齢者の門をくぐる頃となっています。その時に次のステップ目ざして目下準備対処の最中でございます。過去に箏曲の師匠として、いろいろ忌憚なき意見と展望を本紙にお届けしたこがありますが、あれから10年近い歳月が経過して全く同じ態勢、勢力を保てる筈はありませんが、現況は少数勢力で孫弟子の方々の出演を得て、舞台構成と内容の発表に努力しています。そういう訳で箏曲の日常は、私の直弟子は減少しましたが所属流派の幹部として職責を果たし、後進指導は後継者に託す時にあります。その時にあたりひょんなことから、私が36年勤務した本来の職務内容のおかげで別資格を与えられることになり、本当の余生を、自己の責任で全う出来るよう生き甲斐をみつけ、自己の能力を高めて世に問える成果を少しでも着実に出せるよう、又、新たな意欲に燃えて出発の途に立っています。往年の猿渡会長、泉田副会長も泉下におられますが、先人のお導きで、現在の自分があることを深く感じております。前記の職業人生、60年近くに渡る箏曲・三絃の生活（修行）この三者がかみあって私の人生のバックアップをしています。最後に仏法を信仰する者の一人として、この世を生きてありつるはの心境ですが、最高の正しい宗教を依教としてこそ一生成仏が叶うと信じます。皆様方も真摯にご自分の生きる境涯を求められて毎日を過ごされますようお祈りしてやみません。僭越ですが私の人生感の一部を披露させていただきました。

日本大学通信教育部の益々のご発展をお祈りします！

合掌



故郷の風景

日大校友会　正会員　**清水　勇男**

㈠
吾子は毎年帰省する
　青葉若葉の初夏でした
信州信濃は山の国
　三千米の山並ぶ

㈡
お山は高いぞ雪残る
　雪形きまって鯉二匹
上り下りの雪形は
　生きくしている八ヶ岳

㈢
お山の花は八重桜
　青いお山に咲いていた
歩けば足下柴桜
　気候は冷やり寒い国

㈣
学校帰りの学童が
　引率されて下校した
少子時代の少人数
　背負ったランドセル
光ってた

自由形にて

本田まもる

水を得た魚の如くに泳ぐなり短歌のプールを自由形にて

お互いさま年寄ったなあと思えども一部に若さ保ちていたり

シミとシワ眼窩くっきりの老顔を君に見せなん三十年ぶりに

咲き満つは昨日今日なりちらほらと花弁散れば散らないでくれ

自らの母校に孫を勧め入れ満たされており今日入学式

九条を守ってほしい願い告げ留守番電話に投票約す

畑から帽子を脱いで丁重なお辞儀をされて恐縮したり

（昭和43年法卒・相談役・徳島県支部）

日本大学通信教育部長
福田弥夫
日本大学通信教育部事務局
事務局長　**髙橋浩**
事務局次長　**佐藤和彦**
事務長　**梶一夫**
経理長　**牧顕**
〒102-8005　千代田区九段南四-八-二十八
電話　〇三-五二七五-八九〇一

日本大学校友会
会長　**田中英壽**
本部長　**齋藤正道**
〒102-0076　東京都千代田区五番町二-六
日本大学桜門会館
電話　〇三-五二七五-九三〇〇
ファックス　〇三-五二七五-九一二二

日本大学校友会　副会長
日本大学通信教育部校友会　会長
白戸忠志
〒183-0046　府中市西原町二-二九-一八
TEL・FAX　〇四二-五〇二-〇〇九三

日本大学校友会　企画委員会委員
日本大学校友会　常任委員
日本大学通信教育部校友会　副会長・幹事長
日本大学東京都第七支部　副支部長
日本大学町田桜門会　副会長
鈴木勝
〒195-0062　東京都町田市大蔵町二九四五-一三
電話　〇四二-七三六-〇〇三四
FAX　〇四二-七三六-〇〇三五
携帯　〇九〇-七二七五-八三三三

日本大学通信教育部校友会　副会長・渉外部長・事務局長
鈴木孝司
〒350-0158　埼玉県北比企郡川島町伊草二三四-一
TEL・FAX　〇四九-二九七-三六一八